

3年ぶりの 新宿ユース・ステージ パフォーマンス



昨年の10月、台風や新型コロナウイルスの影響で中止されていた「新宿ユース・ステージパフォーマンス」が開催されました。参加団体はやはり少なく、合唱は私達親子合唱団だけでした。観客も少なく、がらんとした客席を見るとちよつと寂しい気持ちになりました。その後、吹奏楽団や金管バンドの演奏が続きましたが、きつと感染予防対策のために思うような練習ができず、生徒さんも、指導されている先生方も苦勞されたろうなと思います。それでもやっぱりホールに生の音が響き渡ると、とてもワクワクしてきます。やっぱり音楽って素晴らしいなと思いました。「みんな頑張った!!」って応援したくなります。親子合唱団も、引き続き感染予防対策を取りながらも元気に楽しく活動していきたいと思っています。来年の写真ではマスクをはずして大きく口を開けて歌っているみんなの顔が見たいですね!

教養部

家庭でできる子育て支援を はじめてみませんか?

「新宿区子どもショートステイ協力家庭、東京都養育家庭（里親）」を求めています。区では、保護者に代わり、子どもを宿泊で預かりいただく「子どもショートステイ協力家庭」を募集しています。保護者の入院、出張、育児疲れなどの理由で、一時的に子どもを養育できない時に最長7泊までお預かりいただくご家庭が協力家庭です。ご家庭に子どもを迎え入れていただき、食事、入浴、寝かし付け、通学通園先への送迎など、ご家族と共に過ごしていただいています。事前に保護者と子どもが事務局と一緒に協力家庭に伺い、顔合わせ、お子様についての情報交換をします。ので、ご安心してお預かりいただけると存じます。また、協力家庭には養育費をお支払します。大久保地区は、当該地域及び近隣に住む児童の利用頻度が高いだけでなく、利用児童の通園通学先への送迎にあたって交通の利便性がよいこともあり、協力家庭の利用率が高く、新しく協力家庭になつてくださる方が必要になっています。協力家庭としてご支援いただける方や詳しく知りたい方は、以下の新宿区子ども総合センター総合相談係へお気軽にお問い合わせください。

また、東京都には様々な事情で、家族から離れて暮らす子どもたち（0歳から18歳まで）が約4000人います。子どもたちが家庭的な環境の中で健やかに育つことができるように、都は養育家庭（里親）制度の普及に努めています。が、里親家庭にいる子どもは、わずか1割ほどで、多くは、児童養護施設で生活しています。養育家庭（里親）

お問合せ

【新宿区協力家庭について】
新宿区
子ども総合センター総合相談係
☎：03-3232-0675
FAX：03-3232-0666

【東京都養育家庭（里親）について】
東京都児童相談センター
☎：03-5937-2316
社会福祉法人二葉保育園二華乳児院
二葉・子どもと里親サポートステーション
☎：03-3351-3108

三 総会報告 三
令和4年5月17日に予定しておりました「令和4年度大久保地区青少年育成委員会総会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。関係各位には委員総会資料を配布し、ご報告させていただきました。

大久保地区育成委員会だより

第37号 新宿区大久保地区青少年育成委員会 広報部 TEL 03-3209-8651 令和5年2月号



着任のご挨拶

大久保特別出張所長
石塚 俊一

日頃より、大久保地区青少年育成委員の皆さまには、青少年の健全育成活動にご尽力いただいておりますことに心から御礼申し上げます。4月に大久保特別出張所長に着任いたしました石塚と申します。簡単に自己紹介させていただきますと、私は新宿区の東の端、津久戸町で生まれ、津久戸小学校、牛込第三中学校を卒業いたしました。その頃の大久保地区の思い出といえば、今は無い戸山の交通公園でゴーカートに乗ったことや、ローラースケートをしたことで、行くのが大変楽しかったことを覚えております。同級生の友達だけで行くには少し距離があったため、近所のお兄さんたちに連れて行ってもらっていました。今にして思えば、育成委員会、学校、PTA、町会など様々な地域行事の中で、世代を超えた交流が度々あったことで、こうした、今なお楽しく思い出せる経験につながっているのだと感じています。

その後、昭和61年から新宿区に勤務していますが、今の新宿未来創造財団に派遣となり、コズミックセンターに勤務した時期もあります。また、歴史博物館に勤務していた平成18年には「百人町鉄砲隊」が岡崎市のお祭りに参加するのに随行させていただくなど、大久保地区にご縁があったことに改めて気づいたところです。令和2年以降、コロナ禍で小学校、中学校で臨時休校があったり、遠足、修学旅行等の学校行事、地域のお祭りなど地域行事も中止を余儀なくされるなど、子どもたちが本来経験できたはずの大切な行事が実施できないという情報に接する度、せつない思いを感じておりました。

昨年、第7波後の秋以降は大久保地区コミュニティスポーツ大会、子ども縁日広場など地域行事も少しずつ再開することができました。通常の規模、内容での実施は叶いませんでしたが、コロナ禍

コミュニティスポーツ大会が 再開されました!



10月30日(日)、快晴で暖かく絶好の運動会日和の中、3年ぶりにコミュニティスポーツ大会大久保地区大会が開催されました。ビーチボールバレーは感染拡大防止の為残念ながら中止となりましたが、輪投げ、ユニカール、ボッチャ、パン食い競争が感染対策を実施しながら行われました。参加者は例年の半分くらいでしたが、競技参加者と実行委員・関係者を含め400名ほどが集まりました。水分補給以外の飲食は禁止などの制限もありましたが、皆さん久しぶりの開催を楽しんでくださっているようでした。来年は飲食もできるような状況になるといいですね!



【コミュニティスポーツ大会のご感想】

当日参加された皆さんに感想をお聞きしました。

実行委員の皆さん

・事故もなく皆さん元気に参加できたので、本当に良かったです。

・ビーチボールバレーができなくなり心配でしたが、例年並みに盛り上がりつつ良かったです。

・今日はお手伝いなので競技に参加することはできなかつたですが、普段お会いできない地域の方や幼馴染とも会えて楽しかったです。

参加者の皆さん

・輪投げに参加しました。良い点は取れなかつたけれど、お天気も良かったし久しぶりに色々な方とお会いできて楽しかったです。

・ビーチボールバレーがなかったのが、初めてユニカールに参加してみました。皆さん和気あいあいとしていてとても楽しかったです。ユニカールはパワーというより心理戦のような感じで、90代の方も活躍していました。



「大久保未来組」 動いています!



『皆さま、ご無沙汰します。』

私達「大久保未来組」は新型コロナウイルス感染状況を見ながら細々と活動をしてきました。今年度は世の中全般として以前の活動を復活させていくというところで動き出した年でした。4月には「大江戸ダンスコンテスト」(7月開催)が決定され、私達「大久保未来組」も参加している親子に参加の意思を確認し、参加を決めました。少ない子ども達ですが親子共々意欲があり、今までの練習より活気と真剣さが見られるようになり、その姿を見られることが私達スタッフ、親御さんの喜びになりました。自分達が頑張った姿をコンテストで多くのの人に見てもらい褒められたことで、子ども達

「子ども縁日広場」を 開催しました!



写真は10月に大久保まつりに参加した時のものです。

11月6日(日)、感染対策に配慮しながら大久保地域センター4階多目的ホールにて「子ども縁日広場」を行いました。当日のお手伝いに参加したPTAの方などに感想を寄せていただきました。

【射的】
大人にとっては昔懐かしいけれど、子ども達には目新しい射的ゲーム。
各得点の景品よりも的に当てる事に集中した親子での楽しいひと時でした。
得点のハードルがチョット高かったかな?
(青少年育成委員会 新倉康夫)

【魚釣り】

子ども達の笑顔をたくさん見ることができました。とても楽しいお祭りで、来年はもっと大勢の子ども達が来場できるようにするといいな、と感じました。

(戸山小 P T A 大橋彩子)



好きな種類の魚を釣る子、大きな魚を釣る子、とにかくたくさん魚を釣る子、とみんな楽しみながら魚釣りを楽しんでいました。縁日と言うこともあり、甚平を着て参加くれた子もいました！コロナ禍でイベントの開催が減っている中、子ども達が楽しめるお祭りが開催出来て良かったなと思います。

(戸山小 P T A 上大谷 綾)

【輪投げ】

輪を投げて、ピンに入った本数でもらえる景品が決まるという簡単ルールで行ないましたが、全

大久保地区の
小中学校アンケート！

コロナ禍は続いています。今年度は少しずつコロナ以前に戻そうという動きも出てきました。試行錯誤が続く学校現場の様子を、先生方にお答えいただきました。

Q 1 今年度から着任された方は自己紹介をお願いします。学校の印象はいかがですか？

Q 2 今年度は運動会、学習発表会などの行事はどのような形で行いましたか？宿泊行事は再開しましたか？

Q 3 印象に残る子ども達のエピソードや、コロナ禍も一進一退ですが学校の様子に変化はありましたか？地域に発信したいことはありますか？

大久保小学校

樺沢 一彦 校長先生

A 1 30年ぶりに新宿に戻ってまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。再び新宿で仕事ができることを大変嬉しく思います。

A 2 運動会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓の参観は遠慮させていただきました。その他は概ね通常通り行いました。大久保アートプログラムについても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場が体育館ということもあり保護者の鑑賞時間を分散させていただきました。宿泊行事は再開しました。

A 3 コロナ禍においても子ども達は元気いっぱいです。今年度はプールに入ることもできました。女神湖高原学園や日光移動教室も実施することができました。毎月、音楽集会も工夫しながら行っています。音楽専科教員の発案で、児童が向かい合わせになることがないように配慮し、全校児童が廊下に出て、お互いが背を向けながら歌っています。校舎の中には子ども達の声が響き渡り、すてきなハーモニーを感じることが出来ます。



西早稲田中学校

塚本 桂子 校長先生

A 1 今年度世田谷区教育委員会から異動してまいりました。兼ねてから学校での勤務を希望しておりましたので、念願が叶い嬉しく思っております。初めて来校したときには広いグラウンドと充実

部入れるのはなかなか大変！準備中に大人も試し投げしてみました。本当に難しかったです！

兄弟姉妹で応援しあったり小さい子には親が狙い方を教えていたり、点が入れば周りが拍手喝采で盛り上がりました。久しぶりの室内イベントで、外は寒くなっていた時期でしたがむしる暑いくらいの熱気にあふれたお祭りでした。

(天神小 P T A 鈴木まどか)



輪投げの景品を覗いて気合を入れて輪を投げる子ども達の姿に微笑ましく思い、縁日を楽しむ子ども達を見守る保護者の方々を見てまた嬉しく思い、終始心ほっこりする時間でした。楽しいひと時をお手伝いさせて頂けた事に感謝です。

(天神小 P T A 只木むつみ)

A 3 コロナ禍はこの先ずっと続きます。学校はもちろん、一般社会においても人と人とのつながりが希薄になりつつあるように感じられます。このような状況ですが、教育活動の実施に当たっては、感染



防止対策を徹底しつつ、学校ならではの交流を大切に活動を行って参りたいと考えています。地域の皆様に様々なご支援やご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

天神小学校

則岡正幸 副校長先生

A 1 今年度、区内の柏木小学校から異動してまいりました。天神小学校は開校100周年を迎える学校ということで、歴史と伝統に対するプレッシャーを感じていました。しかし、天然芝の校庭で元氣よく遊んでいる児童の姿を見た瞬間心地良い印象をもちました。また、地域の方に温かく迎えていただいたので、安堵したことを覚えています。

これからも地域の皆様のご協力を賜りながら「子ども一人一人が輝き、学び合う学校」の実現を図っていきたくと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

A 2

運動会は5月28日(土)に実施しました。保護者の参観は、1家庭2名まで、中学年↓低学年↓高学年の入れ替え制で行いました。保護者の方の目の前で演技することが大きなモチベーションとなり、一つ一つの演技に対する児童の熱気を感じました。宿泊行事は久々に再開することができました。5年生は7月27日から29日まで女神湖夏季施設、6年生は8月31日から9月2日まで伊那移動

した施設に驚きました。着任してからは、この恵まれた環境の中で生徒たちが元氣で明るく、勉強や部活動、行事等に十分力を発揮している姿を目の当たりにし、校長としてのやりがいとともに身の引き締まる思いを感じました。

A 2

おかげさまで今年度は、感染対策を講じながらコロナ以前の形で行事を実施することができております。運動会、西早稲田祭につきましても、保護者等の観覧人数は制限しましたが、全校生徒が一堂に介して実施をすることができました。また宿泊行事につきましても、移動教室、修学旅行と予定通り実施しております。

A 3

コロナ禍3年目となり、with コロナの学校生活にうまく対応できていると感じております。感染対策は当然のことですが、子どもたちは自分の体調を管理し「もらわない、うつさない」ことを意識して生活しております。また給食をよく食べ、健康的な子どもたちが多いことを実感しております。活力ある姿に、力強さを感じ、元氣をもらっております。今後とも子どもたちが地域の宝として、大きく成長していくことができるよう、地域の方々のお力をいただきながら学校経営に尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



【ガラガラボン】

コロナもあり、お祭りが久しぶりだった子ども達。小さいお子さんに関しては、縁日というものが初めてで、みんな目を輝かせて楽しんでたことが印象的でした。いつもは楽しむ側でしたが、今回はガラガラボンのお手伝いをした娘も、友達と一緒にお店屋さん役を張り切って楽しんでいました！世の中の的に難しいこともありますが、地域の子とも達や大人で協力してのイベントはとても良い経験になるな、と感じました。

育成部



教室を実施し、現地だからその活動を体験することにより思い出を作ることができました。10月29日には、開校100周年記念式典を執り行いました。児童は天神小学校の100年の歴史を劇で振り返りました。それぞれの学年が自分のパートに全力を注ぎ、見る者の心を打ちました。また、最後の5、6年生による『ぶち合わせ太鼓』は圧巻の迫力で皆の心に感動を与えました。地域の方には昨年度から「開校100周年記念事業実行委員会」の活動を通して大変お世話になりました。

た。感謝の気持ちでいっぱいです。

12月2、3日には、本校で初めての音楽会を行いました。皆、練習の成果を発揮し、素晴らしい演奏をすることができました。保護者の方もほぼ全員の方が参観してくださいました。

A 3

『ぶち合わせ太鼓』ですが、地域の方に指導していただいたり、太鼓をお借りしたりと大変お世話になりました。学校だけでなく、地域の方のお力添えがあったからこそ、開校100周年記念式典が成功したのだということを改めて実感している次第です。



.....

戸山小学校

矢島直子 副校長先生

A 2

今年度、戸山小では運動会を春、秋の2回に分けて実施しました。春は「表現と徒競走」の発表を、秋は「戸山オリンピック」と称して、異学年でチームを組んだり、学年ごとで赤白に分かれたりして「団体競技」の発表をしました。参観は当該学年の保護者のみといたしましたが、密にならずに参観していただくことができました。

また2月に「The Art of TOYAMA」を実施予定です。校舎の中には図画工作科で制作した絵画や立体作品、家庭科で作ったエプロンやバッグ、書

新宿中学校

石田 浩一 副校長先生

A 2

今年度は運動会、学習発表会(舞台発表の部)とも、学年別開催ながら保護者の皆さんに見に来ていただくことができました。また3年ぶりに1年生の女神湖高原学園移動教室、3年生の京都・奈良修学旅行、若草学級の三校合同女神湖移動教室が行われました。中学校生活初めての宿泊学習を楽しみながら、集団行動等を体験することができました。

令和5年2月には2年生のスキー移動教室も控えています。こちらもしっかりと準備をして実施できるように学習を始めたいです。

A 3

地域の皆さんのご協力を得て、2年生は職場体験学習を行いました。それぞれの場所所3日間の体験を通して、働くことについて学ぶことができました。来年度以降も引き続き協力いただくとともに、今後ともあたたかく見守っていただければと思います。

